

こども相談室

千葉県小児救急電話相談
石原 富子 相談員

こどもの病気 Q&A

【解熱剤を使うタイミング・乳児の嘔吐】

夜間に、急にこどもの具合が悪くなったとき、すぐに医療機関を受診させたほうがよいか、迷われた経験があるかと思います。そんな時、「こども急病電話相談」をご利用ください。小児科医や看護師が電話でアドバイスいたします。今月は、解熱剤を使うタイミング、乳児の嘔吐についてです。ぜひ、参考になさってください。



Q. 解熱剤はどんな時、使ったらよいのでしょうか。

A. 解熱剤は熱による苦痛を一時的に取り除くものであり、熱を治す薬ではありません。熱は体の中に進入したウイルスや菌に対する体の防衛反応です。熱が38.5度以上で、水分や食事が取れない時や、熱の為に眠れない時などに使います。熱を下げ水分や食事がとれるようにタイミング良く使いましょう。解熱剤を使う時は医師に処方された薬、又は許可された薬を、指示された量や時間間隔を守って使いましょう。

Q. 激しく咳をして止まりません。咳き込んだ時、吐いてしまいました。どうしたらよいでしょう。

A. 咳は痰が気管から出にくくなっている時や、部屋が乾燥している時も咳を誘発します。痰は水分が多くなると軟らかくなって出やすくなります。加湿器や室内に洗濯物を干すなど、加湿すると効果があります。水分も少量ずつ、回数多く飲ませます。咳をしてお腹に力が入り、吐いてしまうことがあります。食事は消化のよいものを少なめに与えます。咳のたびに嘔吐する場合や苦しそうに呼吸している時は、受診しましょう。

Q. 急に吐き出しました。脱水症になるのが心配です。何を飲ませたらよいのでしょうか。

A. 乳児の胃はとっくりのような形で、胃の入り口の逆流を防ぐ筋肉が未熟で吐くことがよくあります。他の症状がなく水が飲めて、元気な時は様子を見ます。吐き気が続く時は、無理に水分や食べ物を与えず、胃や腸を休ませます。吐き気が治まったら、湯冷ましやイオン飲料、経口保水液（湯冷まし1ℓに砂糖40g、食塩3gをかき混ぜて飲みやすい温度にする）をひと口かふた口与え、吐かないことを確かめましょう。そのあと、いつもより少なめに与えます。離乳食は一時中止し、母乳、ミルクで様子を見ます。食事の場合、お粥、うどん、白身魚など、いつもの半量からはじめましょう。短時間に嘔吐を繰り返す時、吐いたものに血液や胆汁（黄色や緑色の液）が混じっている時、下痢や高熱があり、ぐったりしている時は、受診しましょう。

こども急病 電話相談



受診した方が良いのか、
様子をみても大丈夫なのか、
看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

ブッシュ回線の固定電話・携帯電話からは、局番なしの

#8000

#8000は、銚子市及び旭市の一部（旧飯岡町・旧海上町）の地域からはご利用いただけません。

●ダイヤル回線、#8000をご利用いただけない地域からおかけの場合

☎043 (242) 9939

●相談日時

毎日・夜間 午後7時～午後10時

緊急・重症の
場合は迷わず
「119」へ

お子さんの急な病気で
心配なとき...



局番なしの
#8000
または、
043 (242) 9939



看護師・小児科医が
電話で相談に
応じます。



実施/千葉県 連立/千葉県医師会